



■昨年度の地域力推進事業

1 社会を明るくする運動の推進

6月19日に社会を明るくする運動矢口地区推進委員会が開催されました。7月10日には大田区民プラザで、矢口特別出張所管内の小・中学校3校の合同講演会が行われ、保護者の方が集まり、子どもたちの非行・犯罪防止について意見交換が行われました。



2 学校防災活動拠点訓練

矢口管内の小・中学校（千鳥小、矢口西小、多摩川小、矢口中）で学校防災活動拠点訓練を行いました。避難所開設訓練やトイレ組み立て訓練等を行い、いつか来る地震に備えて訓練を実施しました。

3 第五回二十一世紀桜まつり実行委員会

平成28年4月の開催に向けて、計40回を超える検討を行いました。18の自治会町会から推薦された総勢160名を超えるスタッフが、まつりの成功に向け一丸となり準備を進めました。



■昨年度の地域の底力再生事業・地域活性化事業

1 高齢者見守りサロン事業（地域活性化事業）

地域力推進矢口地区委員会では高齢者見守り活動検討分科会を設置し、27年度も見守りについて検討を進めてきました。その一環で、28年1月14日に「高齢者見守りサロン」事業が大田区民プラザで開催されました。演芸鑑賞と警察講話。特殊詐欺・悪質商法等から身を守るための対処方法を楽しみながら学びました。



2 多摩川流鏝馬（地域の底力再生事業）

平成27年12月5日多摩川大橋緑地で流鏝馬が行われました。地元自治会・町会による地域交流を促進し、また、地域住民と学校との連携を一層深めることを目的に、地元自治会町会、多摩川小学校PTA、多摩川小学校開校60周年を祝う会実行委員会が主催で実施されました。



■18色の緑づくり（地域の花）の取組

自治会・町会の方が中心となって『ジニア』と『菜の花』の育成に取り組んでいます。平成27年度は、公園やマンション敷地、保育園、児童館、消防署などで育成しました。平成28年度は地域基盤整備第二課の協力を得て、多摩川緑地遊歩道にも花を植えるなど、育成場所が広がりました。さらに地域に広がるよう今後も取組を支援していきます。



●ジニア（矢口二丁目小公園）



【地域の魅力を紹介（矢口特別出張所）】

【地域の活動】

1 第五回二十一世紀桜まつり

4月3日（日）、大田区民プラザで盛大に執り行われました。今回の桜まつりは、初めて「大ホール」を使用して、大きな舞台でのステージが繰り広げられました。イベントブースや模擬店、フリーマーケットなど各会場はあふれんばかりの人でまつりは大いににぎわいました。

●このまつりは、18色の国際都市事業としても開催されました。



2 第2回 高齢者見守りサロン事業（地域活性化事業助成対象）



27年度に引き続き、地域力推進矢口地区委員会高齢者見守り活動検討分科会の取組みの一環として、今年度も11月24日（木）に「高齢者見守りサロン」事業を大田区民プラザで開催します。大田区生まれのシンガーソングライター、amiIrie(アミアイリ)さんによる昭和歌謡などの懐かしい歌と簡単な健康体操で、矢口地区の高齢者の健康維持推進を図ります。

3 第2回 武者パレード

矢口地区の商店会が、地元の町会や新田神社等の協力の下、地域のまちおこしの一環として開催し、新田神社縁の新田義興公にちなみ、武者装束で地域を練り歩きます。パレードの参加者は一般公募とし、第1回目の昨年度は、外国の方を含む約50名の方が参加しました。今年度の武者パレードは29年2月5日（日）に実施されます。



【まちの見どころ】

◆二十一世紀桜並木（多摩川ガス橋緑地）

国土交通省によるスーパー堤防工事が実施され、この事業を契機として地域住民によって、『講和桜』に並列した新たな桜、『二十一世紀桜』の植樹が行われました。現在は、ガス橋をはさんで約140本の桜木が並んでおり、開花シーズンには多くの人々の目を楽しませています。



◆頓兵衛地蔵

（下丸子1-1-19）

正平13年（1358年）、新田義興公が「矢口の渡し」で謀殺された事件に荷担した船頭・頓兵衛が、その罪を悔いて建てた地蔵と伝えられています。頓兵衛が有名となったのは、平賀源内が書いた浄瑠璃「神霊矢口渡」に登場してからといえます。地蔵尊そのものは昭和49年大田区の史跡文化財として指定され、今でも地域の方たちが大切にお守りしています。

